

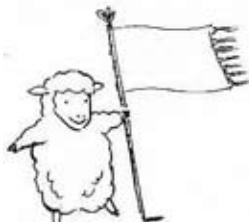
人が大切にされるまちへ

勝ち負けだけが全てではない。
人と人とのつながりを大事にしたい。
安上がりなことよりも、
丁寧な質を、中身を重視したい。
持続可能でスローな循環型社会をめざして。

当事者の声、
傷つき悩み苦しんでいる人の声に寄りそって、
DV、いじめ、虐待、差別のないまち、
あらゆる暴力のない平和な社会をめざして。

ありのままの多様性を、違いを、認め合えるような、
みんなそれが大切な人として暮らせるまち、
だれもが息のしやすい社会をめざして。
共感を持ってつながり合うことから
始めませんか。

だいじょうぶ、 ともにあるこう。



野村羊子といっしょにつくる三鷹の会
(略称 いっしょの会)

私たち「いっしょの会」は、野村羊子を通して出会った三鷹の
なかまたちです。野村羊子と共に住みよい三鷹をめざして、様々
な問題に取り組んでいます。

あなたもぜひ、ご入会ください。

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104

TEL/FAX:0422-72-2425

E-mail issyonokai@nomura-yoko.net

URL <http://www.nomura-yoko.net>

☆いっしょ広場☆

2011年2月6日(日) 14時～
三鷹市市民協働センター
2階 第1会議室

野村羊子がゲストとともに、三鷹のこれからと、共に生きることを語り合います。
どなたでもどうぞ。 (参加費無料)

●野村羊子プロフィール

1957年生まれ。北海道札幌市で育つ。
明治学院大学卒業後、福祉施設勤務。
7年間自閉症児とともに暮らす。

1988年 絵本と木のおもちゃの店「ブーの森」を吉祥寺に開店。
1993年 「ブーの森」、三鷹市下連雀に移転。
同時に女性センターの相談員を7年間務める。
2007年 三鷹市議会議員となる。

- ・厚生常任委員会委員(2007/2008年度)
- ・文教常任委員会委員(2009/2010年度)
- ・東京外郭環状道路調査対策特別委員会委員(2007～2010年度)
- ・全国フェミニスト議員連盟 共同代表(2008・2009年度)
- ・市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク 世話人(2007年度)

いっしょの会ニュース no38
(2010.12.1)



だいじょうぶ、 ともにあるこう。

20代の頃から、

女性・障がい者、自然育児・絵本文化などに関わってきた野村羊子。
彼女はあらゆる現場の悩みと不安の声を聞いてきました。
耳を傾けてきた、子どもや女性たちのリアルな声、本当の
思いを、もっともっと議会に届けていきます。

野村 のむら **羊子** ようこ
といっしょにつくる
三鷹の会
(略称 いっしょの会)



ひとが守られる サービスとクオリティ 当事者の声が生かされる

野村羊子は、施設職員・絵本屋の店主として、子どもと子どもをとりまく状況を見つめてきました。常に現場から発言をしていきます。

ひとりひとりが、自分らしく生きることを模索するフェミニズム。野村羊子は、ジェンダーの視点と経験から、当事者性を重視した政策を提案します。

当事者の声を聞くプロとして、身近な問題を取り上げ、現状のサービスや質について、当事者と政策をつなぐパイプ役として活動します。



野村羊子のアクション

●議会の中で

市民の皆さんのお意見をもとに、これからもどんどん議会で発言していきます。

- ・質と食の安全にこだわった保育・学童保育・学校給食の充実を。
- ・子どもが主体の教育支援、学校図書館、コミュニティ・スクールを。
- ・緑・水の保全と、ごみ減量・資源化のまちづくり再考を。
- ・女性・高齢者・障がい者、1人1人の未来をひらくサポートを。
- ・生き生きと活動する市民を尊重する社会教育と支援を。



4年間 16回
の本会議で毎回
「一般質問」を
しました。

●議員として

議会の中で、外で、議員ならではの活動をしてきました。

- ・市民参加と議論のできる透明性ある議会改革への議論。
- ・内閣府男女共同参画担当大臣との懇談。
- ・自治体議員による「外環道路計画見直し」要請書を国に提出（2009.4 賛同 67名、2009.10 賛同 42名、2010.5 賛同 42名）。
- ・視察（バイオガス発電、生ごみ堆肥化、母子寮・高齢者施設等）。
- ・三鷹市議会超党派議員による「家庭ごみ有料化」市民説明会。

●市民として

当事者の声が生かされるまちをめざして、市民活動をサポートしてきました。

- ・「家庭ごみ 減量したのに有料化?!」熊本一規講演会（2008.8）
- ・映画「犬と猫と人間と」上映会（2010.10）
- ・「自由な風の歌」コンサート実行委員会（2006～2010）



野村羊子のビジョン

●かんきょう

リサイクル・リユース・リデュースを進め、ゴミゼロ社会を。環境もコミュニティも破壊する外環道等の建設の見直しを。雑木林や原っぱのある公園を増やし、冒険遊び場をつくろう。



●コミュニティ

施策の検討段階から、当事者の声を反映できるしくみを。保育・福祉・教育事業は公共がきちんと支え、質を維持しよう。三鷹の子どもの権利条例をつくろう。



●くらし

一人一人の高齢者が必要なサービスを受けられる介護の実現。障がい者が地域で働き・学び・暮らせるシステムの充実を。育児や女性問題に、もっと女性の視点と経験を反映させよう。もっと生活空間にとけこんだ相談事業を。時には子育ての息抜きを。一時保育を市内全域に。

